

# Low Down Spring

ローダウンスプリング No.MDE700

取付・取扱説明書

**AutoExe**  
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8  
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ローダウンスプリングをお買い上げいただきありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

**取付上の注意事項** :  **警告** (人的には死亡または重傷、物的には重大な損害の発生する可能性がある場合。)

1. 適合車種以外への取付けは絶対に行わないでください。
2. 当製品の取付け作業に関しては、設備の整った専門工場で資格を持った整備士の方が行ってください。
3. 走行直後はエンジンやブレーキ周辺パーツが高温になります。作業中の火傷防止のため各部が完全に冷えたことを確認してから作業を行ってください。
4. 事故防止のため、ジャッキアップする際は必ずリジトラックなどを用い、自動車メーカー指定の位置で確実に車両を固定してください。
5. スプリングコンプレッサー使用時は、コイルスプリングが傷付かないようウエス等を介して取付け、円周上を均一に圧縮してください。また、作業中の事故防止のため慎重に作業を行ってください。
6. ピストンロッドナットはスプリングコンプレッサーでコイルスプリングを圧縮した後に取外してください。コイルスプリングを圧縮する前にピストンロッドナットを取外すと、コイルスプリングが飛出し、部品の損傷および死傷事故につながる恐れがあります。
7. パーツリスト以外の部品を使用した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。指示のない部品は、必ずマツダ純正部品をご使用ください。
8. 製品の改造、加工は絶対に行わないでください。この事により発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。

**取付上の注意事項** :  **注意** (人的または、物的に損害が発生する可能性が想定される場合。)

1. 本製品の取付けに際しては、マツダ(株)発行の整備書を参考に作業を行ってください。
2. ハーネス・カプラーなどは破損・断線に注意しながら取外し、保管してください。
3. 一時的に取外す部品は、位置を誤って装着しないようマーキング等をして注意して取外してください。
4. ボルト・ナットの締付けは、整備書に記載の指定トルクで確実に締付けてください。

**スプリング取付け時の留意点** ※重要事項につき作業前に必ずご確認ください。

1. バンプストッパーは必ず純正品をそのまま使用してください。バンプストッパーをカットしたり、純正品以外のものに交換すると、車高が規定値まで下がらない(下がりすぎる)、又は乗り心地が悪化するなどの不具合が発生する原因となります。
2. 再使用する純正部品(アッパーマウント、スプリングシート、ショックアブソーバー、ダストブーツなど)に劣化が見られる場合は、必ず新品に交換してください。劣化したまま再使用すると、車高や乗り心地に問題が生じたり、異音が発生したりする原因となります。
3. 純正スプリングに異音防止用のチューブが取付けされている場合は、ローダウンスプリングの同じ位置に必ず移設してください。この作業を怠ると、サスペンション伸縮時などに異音が発生する原因となります。
4. 製品取付け後はスプリングが遊んでいないこと、また最低地上高および灯火類の高さが保安基準に適合しているかを必ず確認してください。
5. 製品取付後は、車高のダウンに伴い各サスペンションアームの取付け角度が変化するため、ラバーブッシュが使用されているサスペンションジョイント部は、車両をリフトアップした状態で取付ボルト/ナットを一旦緩め、水平な地面に車両を接地させ車重(1G荷重)を掛けた状態で整備書記載の規定トルクで本締めしてください。この作業を怠ると、車高が規定値まで下がらない、または乗り心地が悪化するなどの不具合が発生する場合があります。
6. 製品取付後は、車高ダウンに伴いホイールアライメントとヘッドライトの光軸が変化しますので、整備書記載の数値に再調整してください。
7. 360°ビューモニター付車に取付けした場合、カメラのエーミング調整が必要となる場合があります。

**お客様へご使用上の注意事項**

1. 適正なダウン量が得られるまで(車高が落ち着くまで)に多少の走行距離を要する場合があります。
2. 車高のダウン量は、装着する車両の装備重量や個体差などにより、弊社公開の数値とは異なる場合があります。
3. 製品取付後は車高が下がります。道路の段差や駐車場の縁石に車体下部(アンダーカバー/マフラーなど)が接触しやすくなりますので、運転には十分にご注意ください。
4. 製品取付後は走行性能が変わります。クルマの動きに慣れるまでは十分に注意し、急激な操作を避けてください。
5. 走行中に異常を感じた場合は直ちに安全な場所に停車し、よく点検してください。異常が発生したまま運転を継続しないでください。

構成部品

NO.	部品名称	仕様	数量
①	コイルスプリング フロント	線径 12.0mm バネレート 23.5N/mm 赤色粉体塗装	2
②	コイルスプリング リア	線径 10.0mm バネレート 16.7N/mm 赤色粉体塗装	2

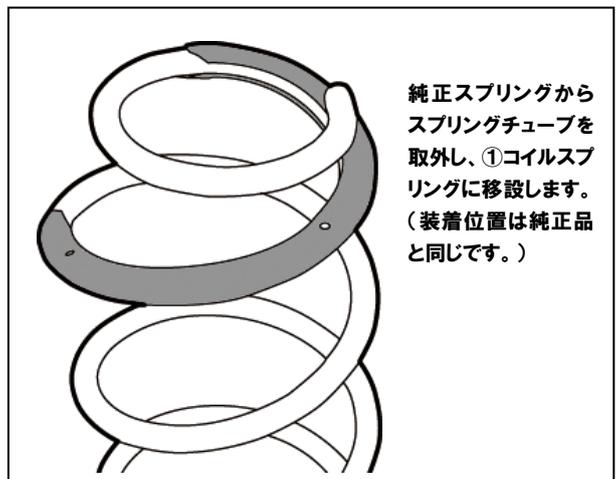
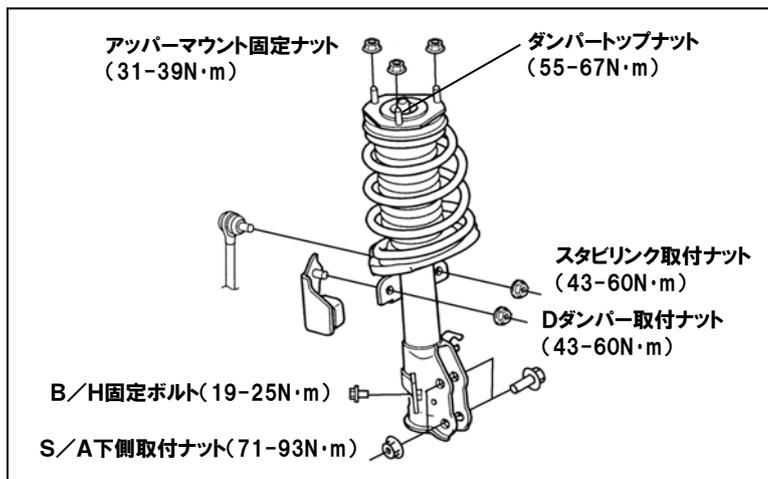
取付要領 (フロント側)

1. 整備書を参照し、純正スプリングを取外します。
2. 下図を参照に純正スプリングに装着されているスプリングチューブを取外し、①コイルスプリング フロントの同様の位置に取付けます。
3. ①コイルスプリング Frをショックアブソーバーに組込み、逆の手順でショックアブソーバーASSYを車両に復元します。

⚠️ ショックアブソーバー下側取付け部のボルト/ナットは、左右でボルトの差込み方向が異なります。

運転席側:車両前方からボルト差込, 助手席側:車両後方からボルト差込

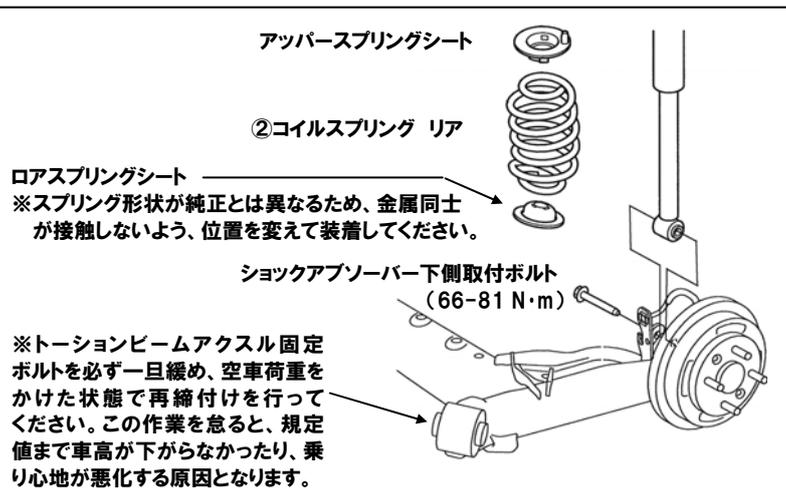
⚠️ 車高変化に伴い、各サスペンションアームの取付部を一度緩め、空車荷重をかけた状態で再締付を行ってください。



取付要領 (リア側)

1. 整備書を参照し、純正スプリングを取外します。
2. ②コイルスプリング リアをアッパースプリングシートのストッパー部に合わせ車両に取付けます。
3. ②コイルスプリング リアがトーションビームアクスルの金属部と直接接触しないようロアスプリングシートの位置を調整しながら、②コイルスプリング リアの下側をトーションビームアクスルに取付けます。
4. ガレージジャッキなどを用い、トーションビームアクスルに空車荷重を加えた状態でショックアブソーバー下側取付けボルトを左右とも取付けます。
5. 取外した各部部品を復元し、作業完了です。

⚠️ 車高変化に伴い、トーションビームアクスルの取り付け部を一度緩め、空車荷重をかけた状態で再締付を行ってください。この作業を行わないと、車高がダウンしなかったり乗り心地悪化の原因となります。



⚠️ スプリング装着後のご注意  
(※ロービームオートレベリング機構付車のみ)

車高がダウンした状態でヘッドランプオートレベリングセンサーの初期化作業を行うとエラーが出て初期化できません。オートレベリングセンサーの初期化作業を行う場合は、必ずノーマル車高の状態を再現してから作業を行ってください。